



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月14日

上場会社名 株式会社デジタルメディアプロフェッショナル 上場取引所 東
コード番号 3652 URL <https://www.dmpof.com>
代表者 (役職名) 代表取締役会長（兼）社長CEO（氏名）山本 達夫
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 企画管理管 (氏名) 大澤 剛 TEL 03 (6454) 0450
掌経営企画部長
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	2,292	45.1	261	—	264	—	221	—
2023年3月期第3四半期	1,579	23.5	△60	—	△58	—	△60	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 219百万円（—%） 2023年3月期第3四半期 △55百万円（—%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	70.58	—
2023年3月期第3四半期	△19.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	3,893	3,343	85.9
2023年3月期	3,842	3,124	81.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 3,343百万円 2023年3月期 3,124百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,950	27.0	240	786.9	240	732.9	200	786.2	63.59

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 - 社（社名）、除外 - 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	3,152,400株	2023年3月期	3,152,400株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	7,240株	2023年3月期	7,166株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	3,145,193株	2023年3月期3Q	3,147,278株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	8
(1) 継続企業の前提に関する重要事象等	8
(2) 最近における四半期毎の業績の推移	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2023年5月8日の新型コロナウイルス感染症の2類相当から5類への分類移行もあり、社会経済活動の活性化により、景気は緩やかに回復しました。しかし、円安の継続、物価やエネルギーコストの高騰等が経済、国民生活に与える影響が顕在化しています。また、世界の景気も総じて持ち直しの動きが見られましたが、金融引き締めによる影響に加え、中国経済の先行き懸念、足元の地政学的リスクの増大など下振れリスクに留意が必要です。

当社グループの属する半導体業界では、2023年は特にメモリー需要減に伴い市場はマイナス成長となったものの、2024年以降中期的には、あらゆるモノがインターネットにつながるIoTや人工知能(AI)、ビッグデータ、次世代高速通信規格、自動運転向けの需要拡大が見込まれます。

当社グループの事業領域であるAI/ビジュアル・コンピューティング分野においては、少子高齢化に伴う労働人口の減少、気候変動等の社会・環境課題の解決や安全安心社会の実現に向けたイノベーションの加速やAIの果たす役割の増大が予想されます。

このような環境下において、当社グループは、「Making the Image Intelligent」というパーパスのもと、当社の創業来の強みである画像インテリジェンス(画像の知能化)の力で現実世界の問題を解決し、ステークホルダーに価値をもたらす革新的な製品とサービスを創造することに取り組んでいます。注力分野であるセーフティ分野及びロボティクス分野において、企画から量産までの顧客製品・サービスの開発ライフサイクル全体に亘り、アルゴリズム、ソフトウェアから、当社の強みであるハードウェアまでの一貫開発体制をもって、IPコアライセンス事業、製品事業、プロフェッショナルサービス事業を展開し、付加価値を提供することで、LTV(顧客生涯価値)の最大化を図っています。

当第3四半期連結会計期間の注力分野における具体的な取り組みと成果としては、まずセーフティ分野において、新規顧客向けにプロフェッショナルサービスを提供するとともに、安全運転支援向けとしてエッジからクラウドに亘る既存プロジェクトからのリカーリング収益を獲得しました。また、DMPの高いAI画像認識性能を活用した車のナンバープレート認識、人の属性・動線認識、人数カウント等のより広範なセーフティ分野向けPoCプロジェクトが進行しています。

ロボティクス分野においては、既存顧客向けにプロフェッショナルサービスを遂行するとともに、デモ機開発による自律走行ロボット向けの新規ライセンス獲得活動を推進し、実績が上がっています。また、資本業務提携先のCambrian社のピッキングロボット向けビジョンシステムのビジネスについては、透明パーツ、光沢パーツの認識精度や外乱光等の環境変化へのロバスト性の強みを生かし、自動車産業を中心とした製造業等の最終顧客の省人化や生産性向上に向けた製品納入、高確度商談が好調に進展するとともに、花王株式会社の小田原工場(花王コスメプロダクツ小田原)のダイナミックセル生産システムに搭載されるなど、三品産業向けのビジネスも活発化しています。なお、Cambrian社がシリーズシードプラスの優先株式を発行するにあたり、資金面から同社の開発力の向上、製品・技術の競争力強化に寄与し、同社との戦略的提携関係を更に強化することを目的に、11月29日にその優先株式の一部を追加取得(払込金額約48万米ドル)しました。

アミューズメント分野においては、稼働が好調なスマートパチスロを含むパチスロやパチンコ向けに画像処理半導体「RS1」の量産出荷を継続するとともに、引き続きこのユニークな2D・3D統合チップの優位性を発揮できる市場セグメントにおけるシェア拡大を目指しています。

その他、様々な展示会に参加し、主に、セーフティ分野、ロボティクス分野における当社製品、サービス、技術のデモ展示を行い、新規顧客の獲得に注力しました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、製品事業において画像処理半導体「RS1」の量産出荷を継続するとともに、Cambrianビジョンシステム、量産ドローン向けカメラモジュール等を出荷しました。IPコアライセンス事業においては、AI/GPUランニングロイヤリティ収入、セーフティ分野およびロボティクス分野におけるリカーリング収益、メンテナンスサポート収入等を計上しました。また、プロフェッショナルサービス事業においては、AI/GPU受託開発サービスを提供しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,292百万円(前年同期比45.1%増)、営業損失は261百万円(前年同期営業損失60百万円)、経常損失は264百万円(前年同期経常損失58百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は221百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失60百万円)となりました。

当社グループは、単一セグメントであるためセグメント別の記載はしていませんが、事業別業績の概要は以下のとおりです。

①IPコアライセンス事業

デジタルスチルカメラ、4Kテレビ、OA機器等のデジタル機器向けAI/GPUランニングロイヤリティ収入に加え、セーフティ分野およびロボティクス分野におけるリカーリング収益、メンテナンスサポート収入等の計上により、売上高は135百万円（前年同期158百万円）となりました。

②製品事業

「RS1」の好調な量産出荷に加えて、Cambrianビジョンシステム、量産ドローン向けカメラモジュール等の売上の計上により、売上高は2,105百万円（前年同期1,343百万円）となりました。

③プロフェッショナルサービス事業

セーフティ分野、ロボティクス分野におけるAI受託開発サービスおよびその他分野におけるGPU受託開発サービスの提供により、売上高は51百万円（前年同期78百万円）となりました。

また、分野別業績の概要は以下のとおりです。

①セーフティ分野

IPコアライセンス事業におけるリカーリング収益およびメンテナンスサポート収入の計上ならびにプロフェッショナルサービスの提供により、売上高は41百万円（前年同期117百万円）となりました。

②ロボティクス分野

主に、製品事業におけるCambrianビジョンシステム、量産ドローン向けカメラモジュール等の売上計上およびプロフェッショナルサービスの提供により、売上高は115百万円（前年同期86百万円）となりました。

③アミューズメント分野

主に、「RS1」の量産出荷売上の計上により、売上高は2,018百万円（前年同期1,291百万円）となりました。

④その他分野

主に、IPコアライセンス事業におけるデジタル機器向けAI/GPUランニングロイヤリティ収入およびメンテナンスサポート収入の計上により、売上高は117百万円（前年同期83百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は3,391百万円となり、前連結会計年度末に比べ292百万円減少しました。これは主に、商品及び製品が95百万円増加および売掛金及び契約資産が549百万円減少したことによるものであります。

また、固定資産は502百万円となり、前連結会計期間末に比べ344百万円増加しました。これは主に、投資その他の資産に含まれる投資有価証券が370百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計年度末における流動負債および固定負債は合計で550百万円となり、前連結会計年度末に比べ167百万円減少しました。これは主に、買掛金が204百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は3,343百万円となり、前連結会計年度末に比べ219百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が221百万円増加したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は85.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、主に製品事業、アミューズメント分野の活況により、売上高は過去最高を更新しました。また、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益は、2023年11月13日に上方修正した通期業績予想の各数値を上回る結果となりました。

第4四半期は、アミューズメント市場向け画像処理半導体「RS1」の量産出荷を継続するとともに、セーフティ分野におけるライセンス収入やプロフェッショナルサービス収入、ロボティクス分野における製品売上やプロフェッショナルサービス収入、およびGPU関連の堅調なライセンス収入を見込んでいます。

2024年3月期の通期連結業績につきましては、今後の業績見通しを精査中であり、現時点では2023年11月13日に公表した予想を据え置きます。

修正が必要と判断した場合は速やかに公表いたします。

なお、実際の業績につきましては、今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,435,996	2,609,160
売掛金及び契約資産	833,518	284,067
有価証券	300,000	300,000
商品及び製品	22,874	117,985
仕掛品	408	2,545
原材料及び貯蔵品	42,583	39,582
その他	48,427	37,901
流動資産合計	3,683,809	3,391,243
固定資産		
有形固定資産	65,837	52,275
無形固定資産	24,119	12,753
投資その他の資産	68,342	437,562
固定資産合計	158,299	502,591
資産合計	3,842,109	3,893,835
負債の部		
流動負債		
買掛金	553,241	348,700
未払法人税等	23,737	45,350
製品保証引当金	17,351	10,184
その他	105,702	127,990
流動負債合計	700,031	532,225
固定負債		
資産除去債務	17,926	18,124
固定負債合計	17,926	18,124
負債合計	717,957	550,349
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,838,882	1,838,882
資本剰余金	1,858,093	1,858,093
利益剰余金	△575,090	△353,091
自己株式	△1,724	△2,016
株主資本合計	3,120,161	3,341,868
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	645	△1,427
為替換算調整勘定	3,344	3,044
その他の包括利益累計額合計	3,990	1,617
純資産合計	3,124,151	3,343,485
負債純資産合計	3,842,109	3,893,835

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	1,579,826	2,292,669
売上原価	1,011,726	1,338,752
売上総利益	568,099	953,917
販売費及び一般管理費	629,052	692,552
営業利益又は営業損失(△)	△60,953	261,364
営業外収益		
受取利息	1,048	475
為替差益	1,969	2,376
営業外収益合計	3,018	2,852
営業外費用		
有価証券償還損	548	—
雑損失	9	1
営業外費用合計	557	1
経常利益又は経常損失(△)	△58,493	264,215
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△58,493	264,215
法人税、住民税及び事業税	1,717	42,217
法人税等合計	1,717	42,217
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△60,210	221,998
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△60,210	221,998

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△60,210	221,998
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,000	△2,073
為替換算調整勘定	3,615	△299
その他の包括利益合計	4,615	△2,372
四半期包括利益	△55,594	219,625
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△55,594	219,625
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業は、I P コア等の開発・製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

4. その他

(1) 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

(2) 最近における四半期毎の業績の推移
2024年3月期

(単位：千円)

	第1四半期 2023年4月～ 2023年6月	第2四半期 2023年7月～ 2023年9月	第3四半期 2023年10月～ 2023年12月	第4四半期 2024年1月～ 2024年3月
売上高	699,165	742,931	850,573	—
売上総利益	256,344	342,473	351,584	—
営業利益	30,196	104,590	126,578	—
経常利益	32,833	107,336	124,045	—
税金等調整前四半期純利益	32,833	107,336	124,045	—
四半期純利益	26,411	94,614	100,972	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	26,411	94,614	100,972	—
四半期包括利益	26,658	94,710	98,255	—
1株当たり四半期純利益	8.40円	30.08	32.10	—
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
総資産	3,684,722	3,691,464	3,893,835	—
純資産	3,150,810	3,245,229	3,343,485	—
1株当たり純資産	1,001.77円	1,031.82	1,063.06	—

2023年3月期

(単位：千円)

	第1四半期 2022年4月～ 2022年6月	第2四半期 2022年7月～ 2022年9月	第3四半期 2022年10月～ 2022年12月	第4四半期 2023年1月～ 2023年3月
売上高	387,671	537,683	654,471	742,286
売上総利益	119,257	190,020	258,820	292,576
営業利益又は営業損失(△)	△89,267	△13,573	41,887	88,012
経常利益又は経常損失(△)	△83,735	△10,570	35,813	87,307
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△83,735	△10,570	35,813	87,307
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△84,308	△11,143	35,240	82,780
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△84,308	△11,143	35,240	82,780
四半期包括利益	△79,661	△10,990	35,057	84,372
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失(△)	△26.79円	△3.54円	11.20円	26.32円
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
総資産	3,463,998	3,485,580	3,557,274	3,842,109
純資産	3,015,821	3,004,830	3,039,888	3,124,151
1株当たり純資産	958.23円	954.74円	965.88円	993.30円